

令和6年度小学生学び応援塾について（参考）

1 事業概要

本事業は、射水市内小学校3年生児童を対象に、放課後の空き教室等を利用して、算数科の補充学習として実施している。対象となる5校は、児童数が多い小学校を中心に、教育センターと教育委員会で協議して決定している。各校の定員を概ね20名として、本人と保護者の同意を得て希望する児童を集めて実施している。毎回5人の支援員が指導にあたり、教育委員会で担当している専任支援員が作成した百マス計算（四則計算）や復習問題等、基礎基本の学習内容を中心に、各校年間26回程度実施している。

学習で使用するプリントの内容が授業で学習した直後の復習問題等なので、支援員は、児童の躓きが把握しやすい。支援員は、解き方が分からず困っていたり答えが間違っていたりした場合、ヒントを与えて解き方を身に付けさせたり、間違えた原因に気付かせたりしながら、基礎基本をしっかり身に付けさせている。毎回児童に学習の振り返りを書かせ、何が分かったのかどんな自信が付いたのか気付かせやる気を育てている。また、支援員からの「真剣に取り組んでいる姿が素晴らしくて輝いています」「一つ一つを確実にやっけていこうとしているので力が付いています」「計算力が付いて、算数が得意になってきましたね」という励ましの言葉に、毎回楽しみにしている児童の姿が見られた。

児童からは「授業で新しいことを学び、学び応援塾で復習できるので、算数が好きになりました」「間違えた問題の振り返りができて、算数の点数が上がりました」「授業でよく分からなかったけれど、学び応援塾の先生が優しく教えてくださったので分かるようになってきた」など、自信がつき、学習意欲が高まってきている様子が見られた。

保護者からは「子供の振り返りを読むと、楽しく取り組んでいる様子や自分の気付きが書いてあり、好きな算数がもっと好きになってきています」「以前は間違えた問題の復習をすることがありませんでしたが、1度間違えた問題を2度目から無くそうと努力するようになりました」「たくさん褒めてくださっているので子供の自信になっています。支援員の先生方や友達との繋がりも力になっています」など、喜びや感謝の言葉が多かった。家族の励ましや応援が、何よりも子供の自信になっている。

2 実施状況

- ・大島小学校、大門小学校、作道小学校、小杉小学校、太閤山小学校の5校で実施
- ・各小学校、3年生を対象に実施（各小学校20名程度）
- ・各小学校、年間26回程度実施（写真は、作道小学校と太閤山小学校）



3 令和7年度に向けて

- ・支援員の確保がだんだん難しくなっている。該当校で勤務している非常勤講師や学習サポーター、スクールサポートスタッフ等の協力により、支援員の確保を図る。
- ・学級担任や管理職等に、実際に学習している児童の様子を見に来てもらい、声かけをしたり励ましたりしてもらうことで、児童の自信や学習意欲を高めることに繋げる。